

# 旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部  
会員向けニューズレター  
発行人 古川 彰久  
事務局 〒252-0321 神奈川県  
相模原市南区相模台 1-23-9  
Tel.&Fax.  
042-748-8240  
<http://www.jouhan.com>  
E-mail: info@iki2life.com

## 10月例会ご案内

10月12日 木曜日 18:30 ~ 21:00

テーマ : 【M】 X 【h】 = ± の意味の解説

場所 : 港区商工会館

参加費 : 1000 円

担当 : 榊原 高明

例会ではこの式について解説し、

皆様とこの思考法がはたして正しいものなのかどうか、討議したいと思います。

城野先生の「両面思考」は重要な指針の一つであり、ものごとには必ずプラス面とマイナス面が一体であるとの思考法です。

しかし、理系の私は、それでは何故根源的にそのプラス、マイナス面が出現するのか、長い間考えてきました。

その結果、森 政弘さん（当時 東工大教授、ロボット博士として有名）の著書に解明のヒントを見つけました。

そのカギは「無記（むき）」というお釈迦様が発見された天地の真理と言える用語でした。

無記とは、善でも悪でもないもの。つまりそれ以前のものという意味です。

表題の 【M】 X 【h】 = ± とは――

【M】: 無記

【h】: human 人間

± : 結果、プラス面マイナス面

無記の具体例として刃物があります。

刃物は人を殺そうとするときには「ドス」と言い、人の命を助けようとする場合には「メス」と言われるが、両社は本来同じもの。

刃物の無記は「先端が薄く尖ったへら」と定義される。つまり、無記に人間が係わって始めて、プラス面やマイナス面が発現する。

刃物にはじめから両面があった分けではない。

つまり、人間が係わらなければ、この世に善も悪も、そしてプラス面、マイナス面は生じないことになる。これが【h】の意味です。

